

# 「京都市長には、こんな人になってほしい」 〈市民が求める市長像〉を考える集い

日 時：平成15年7月13日（日） 場 所：京大会館101号室

「市長像の基準」を決めるにあたり、ゲストとして尼崎市長の白井文氏を迎え、市長に至る経緯を詳しくお話いただきました。

## —白井文さんのお話—

◆市民が市長を自ら選んでいくことは素晴らしい。このような流れを広めていけば、日本も変わっていくと思う。私も少しでもお役に立ちたい。

◆私は、昨年の12月に尼崎の市長になり、いまで7ヶ月務めた。

当選するまではほとんどマスコミの取材もなく、私は泡沫候補だったようだ。

◆マスコミが騒いだ理由は、5党相乗りで3選となる現職を、無党派42歳（当時）の女性が破ったからであり、また女性市長では一番若かったからのようだ。マスコミの作った像に乗ろうとしても、そうはいかず、「悪戦苦闘する姿を見てもらおう。その方が私らしい」と思うことにした。

◆私は生まれも育ちも尼崎。選挙にも興味がなかった。それが議員の不正で解散直し選挙となったとき、政治が身近に感じられるように、関心を持ってもらうために、プロでない者が出た。私も市会議員に立候補、当選した。これが10年前。

◆私は8年間頑張ってきたが、議会

はずごいところで心身共に疲れ果てた。「もう一度地域に戻ろう」と考え充電期間として立候補しなかった。そして、一年ほど前「市長選に出ないか」と言われるようになった。「とんでもない」と思っていた。しかし同期の議員にもすすめられ、加えて様々な団体

やグループからもエールをもらった。私自身、議員のときは常々市長のあるべき姿を訴えてきたが、それは誰かがやるものと思っていた。しかし、熱心に言われてそれならと思った。私自身はカリスマ性も能力もないので、みんなと

—プロフィール—  
2002年尼崎市長選挙に無所属市民派として立候補し当選。尼崎市長として「分かりやすい言葉、見えるお金の使い方、親しみ易く頼りになる市役所に変えてゆきたい。」



一緒になって、やろうと思った。

◆選挙については、10の約束をうたい、それに賛同してくれる人が勝手連として応援してくれた。発起人に20名余の人が集まった。それぞれが応援部隊を持っている人だった。このメンバーを見た時「勝てる」と感じた。なぜなら、みなさん熱くまじめで、私利私欲に走らない人だったから。それぞれが団体を背負っているが、皆「このままではいけない」と思っていて、一致団結できた。

◆よく動く人たちと行動を共にし、多くの人が集

<http://www11.plala.or.jp/shiminha/>

しみんの会ニュース No.3

京都市長を選ぶ市民の会 会報

2003/08/24

連絡先：〒604-0932 京都市中京区寺町二条下 ワカバヤシビル3f プロボノセンター内  
Tel&Fax 075(213)1485（月～金/午後1時～4時） e-mail:shiminha@khaki.plala.or.jp

まった。私は駅やスーパー立ちを中心にして、会場での演説会はほとんどしなかった。

◆私にとって、選挙戦は楽しかった。これがなければ知り合えなかった人の輪やネットワークが広がった。そして、いろんな人が頑張った、誇りに思える選挙だった。

◆投票日12月12日、天気がよかったせいか、投票率はこれまでの中で最低の32.5%。私たちは投票率が40%ないと勝てないと考えていたが、当選した。

◆当選が決まった後、たくさんの方が「おめでとう」と言ってくれた。それに「尼崎市民はエライ」と言う言葉が必ず付いた。尼崎市民はすごい、私のような人間に「応援してみよう」と票をくれた。尼崎市だからできたことで、私はこれを誇りに思っている。これは10年前に議会を解散させたエネルギーを市民がいまも持っているからだろう。

◆政党でなく、市民が市政を作っていくのは、これからの新しい流れだろう。市民に提案をし、どんな事業をするか、施策を打つかを審議していく。そのためには情報の公開ではなく「情報の開放」と「共有」が必要となる。

◆皆さんが、京都の新しい動きの鍵を握っている。京都・尼崎の関西から政治を変えていきたい。がんばってほしい。

引き続き参加者との質疑応答あって、大きな拍手のなか白井市長は会場を後にされました。

休憩をはさんで、6.08「意見交換会」での意見を集約した素案をもとに、候補者の選考基準が忌憚なく話し合われました。



■京都市役所は、内部で検討委員会を設置してもがんじがらめ、責任は棚上げされている。単に職員の問題ではなく構造に問題がある。無駄使いや談合などの利権は、根本的に考える必要がある。このためには、市長にしがらみのない人が必要。この課題に体を張れる勇気のある人を望む。

■私は、老人施設を早く何とかして欲しい。他にも問題はあろうが、優先順位を上げて取り上げて欲しい。選挙の争点にもして欲しい。

■三山は、常に開発の対象として狙われている。また廃棄物が持ち込まれている。この問題は、京都の環境問題にとって大変重要。「基本姿勢」に「山紫水明」「三山」という言葉を是非入れて欲しい。

■私は項目をこれ以上増やすべきではないと思う。現市政の問題点は、市民の要望が実現されないことであり、具体的な課題は、市民の提案を受け入れる市政が実現すれば、解決されていく。

■これらの8項目は今の段階で、私たちが望んでいること。どの項目が今後より前に出るかは、候補者との関係もあり、まだ分からない。

■公募開始のためリーフレットづくりを進めている。市民の方に私たちの運動を知ってもらうこと、これを見て自薦・他薦の人が名乗りあげてくれること、この二つを大きな目的としている。

■「市長像」「基本姿勢」は市民の会が求める基準として整理している。個別の政策は発表の段階では考えていない。しかし候補者を選んでいくときには、候補者それぞれの考えを聞き、具体的などころでも判断することになると思う。

■「市長像」は選ぶ基準にして、「基本姿勢」を全面に出して「こんな市長を求めています」としてわかりやすくしたい。これが、いわば政策協定のようになるのだろう。白井さんは政策協定を結ばなかったそうだが、私も結ぶ必要はないと思う。

■名乗り出る人を待つのか。あるいは会から人を捜すのか。

■自薦・他薦の両方を公募する。どちらを優先するか、世話

人会では議論しているが、同じように募集して基本姿勢を伺っていきたい。

■自薦の人は、「基準」を見て応募してもらおう。他薦の人は、「この人ならできる」と思う人を推薦してもらおう。

■「市長像」には、みんなの要望と願いが凝縮されている。項目それぞれに矛盾はないと思う。また「これはできない」といわれれば、無理は言えない。全ては、白井さんのように「市民の声を聞く」と言うところに凝縮されるような気がする。

■どのような市長がいいか。「この人なら、何とかしてくれるだろう」と思われることが大事。「勇気を持つ」という資質が重要なだろう。

■項目を増やすか減らすかについては、どうすれば市民に伝わるか、という視点から工夫したらいいと思う。ぜひ、京都の閉塞感をうち破って欲しい。京都市民には変える力があり、市政を変えていこう、と訴えるのは工夫のしどころ。

■京都は146万市民のうち、1割が学生で、学生が多いまち。学生にとっては京都で就職、あるいは起業できる機会があって欲しい。京都で学ぶモチベーション、誇り、アイデンティティのようなものがあり、それが自分の進路に結びつく形の施策や機会があれば、面白いと思う。

■市長が政策を立案したとしても、実行するには限界があるだろう。それをバックアップすることが必要。通った後も、市民参加ができるような仕組みが必要。

■政策を並べて「これでどうですか」と訴えることもできようが、「市民の苦しみを自分のこととして捉え、取り組む情熱を持った人」というような姿勢を問うてもいい。きれいな事を並べるだけなら誰でもできる。一緒に実行する姿勢が大事。

■どのような人に市長になってもらうか——私は「ごく当たり前」の人になって欲しい。当たり前の感覚で生活している人。歴代の市長を見ていたら休みがない。これはどこの市長も同じこと。休むときは休むというごく当たり前の生活リズムで頑張る、勇気ある市長になって欲しい。そうしないと、人間らしい政策は生まれてこないだろう。

—この項— 〈了〉



市政に風をいれよう  
さわやかな風を

## —入会案内—

京都市政に爽やかな風を入れるために、あなたも「京都市長を選ぶ市民の会」 会員になりませんか。

「市民の会」では、真に市民の声が反映される市政実現のため、さまざまな活動を行います。多くの方の力が必要です。

◇当会は一人ひとりの市民のカンパで活動しています。

〈会費〉 一般会員 2,000円 学生会員 500円  
賛助会員 10,000円

〈振込先〉 振替郵便口座 00970-5-247405  
京都銀行寺町二条 127-3535557  
(口座名はいずれも京都市長を選ぶ市民の会)

◇「市民の会」の集会・講演会・研修会などには、どなたもご自由にご参加ください。

◇毎週木曜日・午後7時よりプロボノセンターにて世話人会を開いています。

世話人会への参加ご希望の方はご連絡ください。

## 京都市長を選ぶ市民の会

〈代表〉 折田泰宏・四方功一

〈連絡先〉 〒604-0932 京都市中京区寺町二条下  
ワカバヤシビル3F プロボノセンター内

TEL/FAX 075-213-1485 (月～金/午後1時～4時)

<http://www11.plala.or.jp/shiminha/>

e-mail: [siminha@khaki.plala.or.jp](mailto:siminha@khaki.plala.or.jp)

あなたもお友達を誘って、ぜひ...





6月22日に正式発足した「市民の会」ですが、その活動はまだまだ京都市民に届いているわけではありません。

8.01 記者発表にあわせ出来上がったリーフレット（市民の会ニュース第1号）を一人でも多くの人たちに読んでもらおうと、「市民の会」メンバーは街頭に出ました。

8月2日は四条河原町高島屋前にて午前10時から12時までの2時間、横断幕やのぼりを用意して相当目立つように心がけたのですが、リーフレットを受け取ってもらうのは一苦労でした。こ

# 呼びかける



れからは街頭で配っているチラシやティッシュは、なるべく受け取るようにしようと感じたයිです。

続いて4日、午前8時から9時まで市庁舎前で登庁する市職員の方々に向けて呼びかけました。現市政が抱える矛盾を一番身近で感じておられであろう皆さんに、私たち市民の思いを伝えたかったからです。

「市民の会」の活動目的と内容を詳しく知っていただくために、リーフレットを是非ご一読ください。

## 京都市長選候補を公募

### 無党派擁立へ市民グループ

来年2月に予定される京都市長選に無党派の候補者擁立を目指す市民グループ「京都市長を選ぶ市民の会」



記者発表する「市民の会」メンバー 03/08/01

→(京都市) は1日、候補者を全国から公募すると発表した。

年齢、性別、経歴、出身地や現住所などの条件は付けず、他薦も受け付ける。面談で数人に絞った後、公開討論会などを経て候補者を決める。募集は8月31日まで。人となりアピールする資料や論文などを提出してもらおう。

市民の会は、求める市長の役割として

- (1) 徹底した情報公開と市政への市民参加実現
- (2) 暮らしを守る視点に立った京都経済立て直し
- (3) 伝統が生きる町づくりの推進—など5項目を打ち出している。

市民の会代表の折田泰宏弁護士は「政党絡みではなく市民が選ぶプロセスを大事にして、9月中旬に候補を決めたい」としている。

— (共同通信社) 配信記事より -